

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察技術情報第15号（ナシ黒星病）について（送付）

ナシ黒星病の防除対策について、以下のとおり取りまとめましたので送付します。

1 農作物名 ナシ

2 病害虫名 ナシ黒星病

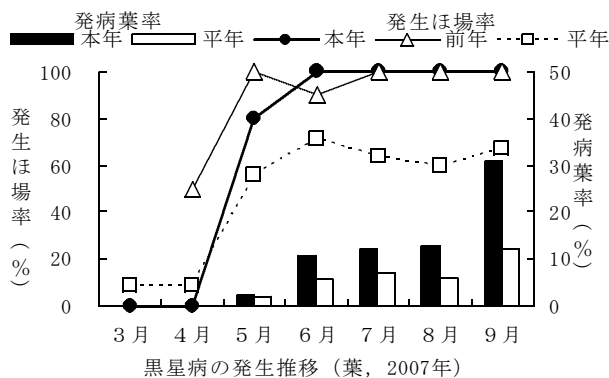
3 情報の根拠

- (1) 前年9月の巡回調査では、葉での発生ほ場率は100%（平成67%），発病葉率は30.9%（平成12.1%）で、越冬菌密度は高いと予想される。
- (2) 果樹部北薩分場の調査では、発病葉率は9月上旬には無防除区で92.3%，慣行防除区では9月下旬に3.8%で過去5年間で最も高かった。
- (3) えき花芽りん片で越冬した病原菌が第一次伝染源となる。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 降雨や結露により発生が助長され、多発する恐れがあるため、主要な感染時期に当たる開花期～新梢伸長期の防除を徹底する。
- (2) 開花前は効果の高いSBI剤（DMI剤）を用いて防除し、耐性菌の発生を防止するため同一系統薬剤の連用を避ける。
- (3) 発病葉や発病果は伝染源となるのでせん除し、園外に持ち出して処分する。
- (4) 「幸水」および「豊水」は本病に感染しやすいので防除を徹底する。

（参考資料）



防除適期（開花前の花芽）

